

# 会って聞き隊

## 活動報告

北海道工業大学 苫米地 司 学長

### 学長インタビュー



私たち人間社会学科、「会って聞き隊」企画メンバーは、道工大のOBで現学長の苫米地司学長に、学生に対する印象や意見、さらに、道工大の今後などについて、インタビューを行った。

率直な感想を述べると、大変おもしろく、ためになるお話を伺うことができた。

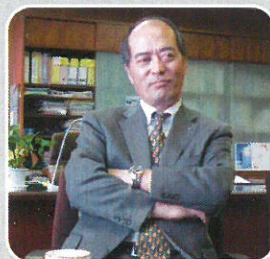
ぜひ多くの人に読んでもらいたいと思う。

Q. まず始めに、私たち学生を見て率直な

印象をお聞かせください

苫米地学長(以降T): 「君たちの時代は情報量がすごいじゃない。なんか、それに惑わされているんじゃないか、というのが、一番感じる。人間が本来、社会の中で生きていくためには専門的なことばかりじゃなく、教養の知識が必要でさ。ここが、一番大事。だけど今の若者は、みんな教養が同じに見えてくるんだよ。だから、そこへんは、もうちょっといろいろあってもいいかなと思う。ほかに、生活には倫理感とか道徳的なことが必要になってくるんだけど、今の人が、よく言われるのが、近代的自我中

心主義者、自己中とまでは言わないけれども、もう少し周りの人達とコミュニケーションを持ちながら、もう少し周りの人達に配慮することを考えたほうがいいんじゃないかと思う。ほかに、生きていくうえで、やらなくてはいけないことと、やってはいけないことの判断。今言ったことさ、バランスっていうものが大事になってくるわけさ。だけど、今の若い人たちには、これが欠けているんじゃないかっていう気がしてならない」



苫米地 司学長

昭和51年3月北海道工業大学工学部建築工学科卒業。同年4月から同校教員として勤務し、平成23年4月北海道工業大学学長に就任。

私たち「会って聞き隊」は、道工大のOB、OGをはじめ、社会でいきいきと活躍している大人たちに会いに行き、インタビューを行い、記事としてまとめて雑誌を出す企画をしました。聞きたいのは「20歳の頃どうしていたか」「なぜその仕事を選んだのか」「仕事のやりがい、面白さ」「学生へのアドバイス」など。

これまでに本学の苫米地学長をはじめ、フォトジャーナリストの木村氏、倶知安風土館の岡崎氏などの取材を実施。現在編集・デザイン中です。

今回同窓会からいただいた助成金は交通費や取材謝礼等の経費に充てさせていただきました。北海道工業大学同窓会の皆様に心よりお礼を申し上げます。

これからも取材活動を継続して、いきいきと活躍している大人に会いに行きたいと思っています。